

今年もドングリの成りは凶作

当センターでは、秋のツキノワグマ（以下、クマ）の出没を予測する基礎データを得るため、毎年、クマ生息地域におけるブナ科種子の結実状況（ドングリの豊凶）をモニタリングしています。

本年も、8月後半から9月前半にかけて、ブナ3箇所、イヌブナ1箇所、ミズナラ11箇所、コナラ24箇所の計39箇所について、目視により調査し、豊凶を判定しました。

その結果、ブナ・イヌブナが「結実がほとんどみられない凶作」、コナラが「昨年よりさらに少ない凶作」、ミズナラが「凶作に近い並作」となり、ブナ科種子全体では「凶作」と判定しました。

なお、豊凶レベルでみると大量出沒した平成22年に次ぐ、昨年同様の凶作であり、今秋のクマ出沒には一層の警戒が必要と思われます。

今後も、エサ資源としてのブナ科種子の豊凶調査を継続し、クマの出沒状況との因果関係を調べます。

ブナ科種子の豊凶状況

樹 種	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
ブナ	並	凶	並	凶	並	凶	並	凶	並	凶	凶	凶
イヌブナ	凶	凶	豊	凶	凶	凶	凶	並	凶	凶	凶	凶
ミズナラ	並	凶	凶	凶	凶	凶	並	凶	並	並	凶	並
コナラ	並	凶	凶	並	凶	凶	並	並	並	並	凶	凶
府全体	並	凶	並	凶	凶	凶	並	並	並	並	凶	凶
豊凶レベル	2.0	0.6	1.6	1.3	1.2	1.1	1.9	1.5	2.3	1.6	0.9	0.9

- 1. 豊凶レベル：調査木をレベル0（堅果がない）～レベル5（全体にたくさんついている）で数値化したものを樹種毎に平均化し、さらに4樹種を加重平均したもの
- 2. 判定基準：樹種毎に凶作（凶）＜1.5≦並作（並）＜3.5≦豊作（豊）で判定